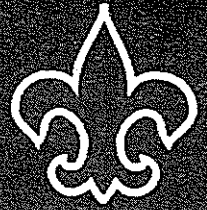


REINANZAKA SCOUT CLUB



スカウトOB・OGの情報交換や交流の場 / 2005年 3月31日発行

霊南坂スカウトクラブ

霊南坂スカウトクラブ：霊南坂教会内 107-0052 東京都港区赤坂1-14-3 電話：03-3583-0403

夏期キャンプ報告

キャンプで学んだこと

シニア部門 中曾 英香 (中2)

東京からバスに揺られて約2時間、私たちガールスカウトは、「本栖湖青少年スポーツセンター」へと足を運んだ。本栖湖に着いた時、本当にきれいで壮大な景色が広がっていて、何だかとても清々しい気持ちになった。バスから大きな荷物を受け取り、キャンプ場へ向かう足取りは軽かった。以前にもキャンプに行ったことはあるが、今回はシニアとしての参加で、何となく心配だった。

このようにいきなり不安な気持ちで始まったキャンプだったが、今思い出してみると、ずいぶん早かったなあ、楽しかったなあ…などと思っていたりする。

みんなでテントを立てたり、ご飯を食べたり、湖畔へ遊びに行ったり…。私にとっては全てが新しい世界の様な感じがした。都会の様に快適ではないけれど、快適以上の何かがあったし、窮屈な建物の中に詰め込まれないし、私にとってとても新鮮だった。でもやっぱり携帯電話を使った「どろけい(警察と泥棒に分かれての鬼ごっこ)」が1番楽しく、新鮮だった。携帯電話やトランシーバを使って連絡を取り合い、木の陰に隠れ…。何となくスパイのような感覚で遊ぶことが出来た。また携帯電話でこんなことも出来るのか…と少し驚いた。最近この様な機会がなか

ったので、おもしろかった。

しかし、キャンプは決して「おもしろい」だけではなかった。トイレは遠いし、水くみは大変だし、起きるのは大変だし…。いつもの生活と違ったことがたくさんあって、辛かった。途中もめたりすることもあった。けれど、このように都会と違った生活、自然の中で過ごす生活、そして何より友達と過ごす生活は、私にとって忘れられない思い出となった。今度行くときは、もっと楽しいキャンプになる様工夫したいと思った。

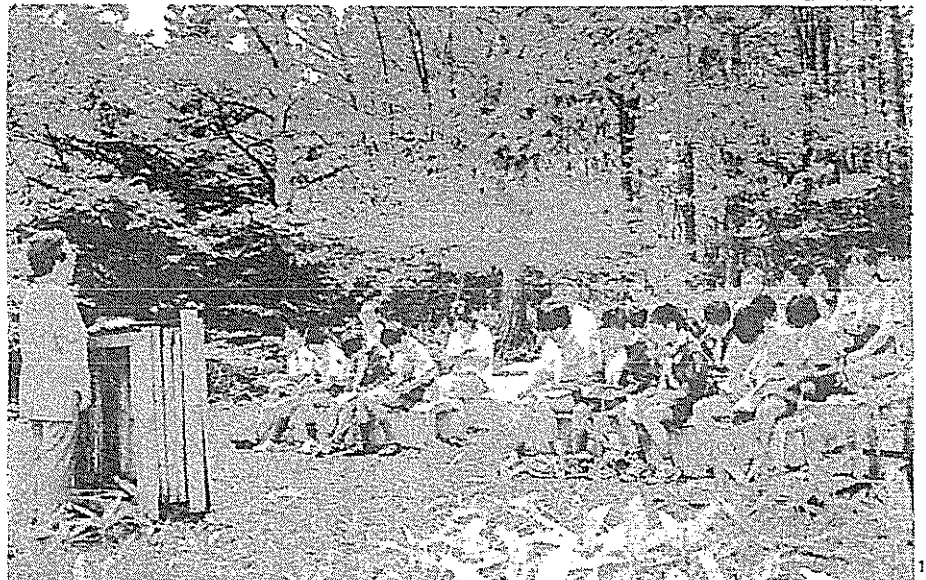
がんばれ!

カブス野辺山リーグ

カブ隊リーダー 清水 康輝

本年度のキャンプは、YMCA 野辺山

高原センターにて8月14日より16日の日程でスカウト15名・リーダー・保護者13名で行いました。キャンプテーマは、「がんばれ!カブス野辺山リーグ」として日頃、大人顔負けの過密スケジュールにて勉強に励んでであろうスカウト達が、イチロー・松井・野茂となって野球をしよう!としました。それは、日頃ハイキング等でカブ弁を包むアルミホイルをボールにして食事もそこそこに皆で楽しんでいる彼らに隊長の集合の合図は、毎回ブーイングの嵐です。そこで、今回「とことん野球しよう」と致しました。幸い野辺山高原センターにはグラウンドも有りクマ・女性リーダーチーム対シカ・ウサギ男性リーダーチームにて9回表・裏の攻防を堪能出来ました。それぞれに、得手不得手はありましたが、思いがけずのホームラン・生まれて初めてのヒット・敗れたクマチームの悔し涙有り、スカウト達それぞれに思い出深い



キャンプでした。

追伸 最近クマスカウト達からキャンプでの敗戦のリベンジを果たしたいとの申し入れを受けています。上申前にもう一試合しようと計画しております。

支援費	100,000
通信費	120,000
事務費	10,000
会議費	20,000
ネッカチーフ	200,000
歌集	100,000



3. 議事内容

- 1 6年度・事業報告
- 2月22日 マジックショー
- 4月29日 バスピクニック
昭和の森(千葉県土気市)
- 9月4日 キャンプファイヤーへ参加
- 10月9日 港バザーへ献品
- 10月23日 教会バザーへ献品及び会場作り・販売のお手伝い
- 11月20日 ブラウニー50周年へ参加
- 12月4日 現役との交流・クリスマス会
- 1月15日 お餅つきへ参加
- 2月5日 カブ50周年へ参加
- 幹事会 6回、
バスピク打ち合わせ 4回
- 会報発行: 6月30日・2月で2回
名簿作成
会計報告(別紙)
その他
会員の計報

17年度・事業計画案

- 演奏会: 新交響楽団による四重奏(小野隊長友人)
- 4月29日 第2回バスピク(葛西臨海公園の予定)
- 歌集作成
ネッカチーフ作成(販売予定)
HPページ開通
会報発行 3回
クリスマス会
バザーへの参加、現役のプログラムへの参加
その他・必要と思われる事柄
- 17年度予算案(別紙)

4. 閉会

16年度会計報告および17年度予算案

2004年2月22日~翌年2月19日
会計: 杉原孝江・塚田洋子・会計補助: 百塚正恵

■収入	
前年度繰越金	1,105,015
会費	393,000
入会金	6,000
賛助会費	68,700
寄付金	20,000
シール売上金	3,500
ネッカチーフ売上金	2,100
雑収入	1,210
利息	32
(今年度収入)	494,542)

■支出	
教会感謝献金	30,000
スカウトサンデー演奏会	35,000
バスピク	73,945
クリスマス会	26,462
支援費	100,000
通信費	66,340
事務費	11,686
会議費	22,380
慶弔費	40,750
(朱・今田・難波・Br.カブ50周年)	
今年度支出	406,563
繰越金	1,192,994

■17年度予算	
教会感謝献金	30,000
スカウトサンデー	35,000
バスピク	100,000
クリスマス会	30,000

名簿	100,000
ホームページ	24,000
予算合計	869,000

■霊南坂スカウトクラブ基金

2,211,639円(利息72円)
予備費・慶弔費等はそのつど幹事会で検討して決める。
基金に関しての用途は、総会で決める。

17年度 霊南坂スカウトクラブ 総会

2005年2月20日

1. 開会
2. 挨拶 小崎 忠雄会長

硝子・鏡

株式会社 矢澤硝子店

矢澤康男

104-0032

東京都中央区八丁堀3-4-7

TEL: 03-3555-6375

FAX: 03-3555-6376

矢澤宏子(旧 内山)

ブラウニー 50周年記念式典の開催

霊南坂にボーイスカウト、ガールスカウトが誕生してから7年後の1954年に妹分なるブラウニーが生まれて、50周年記念のお祝いの会が11月20日秋晴れの美しい日に恵まれ開かれました。

会は礼拝堂でのブラウニー物語にそっての演出の中で、記念式典と礼拝、そして3階ホールでのお祝い会がもたれました。

初代リーダーの根本喜久子さんのご出席は叶いませんでしたが、沢山の歴代リーダーや団委員長さんたち、最初に集まった4人のブラウニーの木村恵子さん、西川安子さん、そして教会の小橋主任牧師、佐原伝道師、スカウト担当役員の仲館さん等々、大勢の方々が集まり和やかに楽しく素晴らしい会でした。

1954年4月初めの集會に4人の少女が集まり、週ごとに増えてその年のクリスマスに11人の少女たちでブラウニー東京第4団の初団式を迎えました。

当時のユニフォームは白いブラウスにエンジ色の吊りスカートで全て手作り、エンジのとんがり帽子はガールスカウトのお姉さんやリーダーたちで作ったプレゼントでした。

50周年記念のこの日にも新たに幸運な6人の少女たちが、霊南坂の森のお池の中にブラウニーの「自分」を見つけて入団しました。

みんなで今日まで恵まれ守られ歩み続けて来られたことを、改めて心から感謝した一日でした。

昔のリーダー 西郷崇子

ブラウニー50周年行事を終えて
ブラウニー部門正リーダー
本多 千春

11月20日(土)お蔭様で無事行事を終る事ができ、牧師先生をはじめ教会の関係者の皆様、OGの方々や団委員の方々に深く感謝しております。

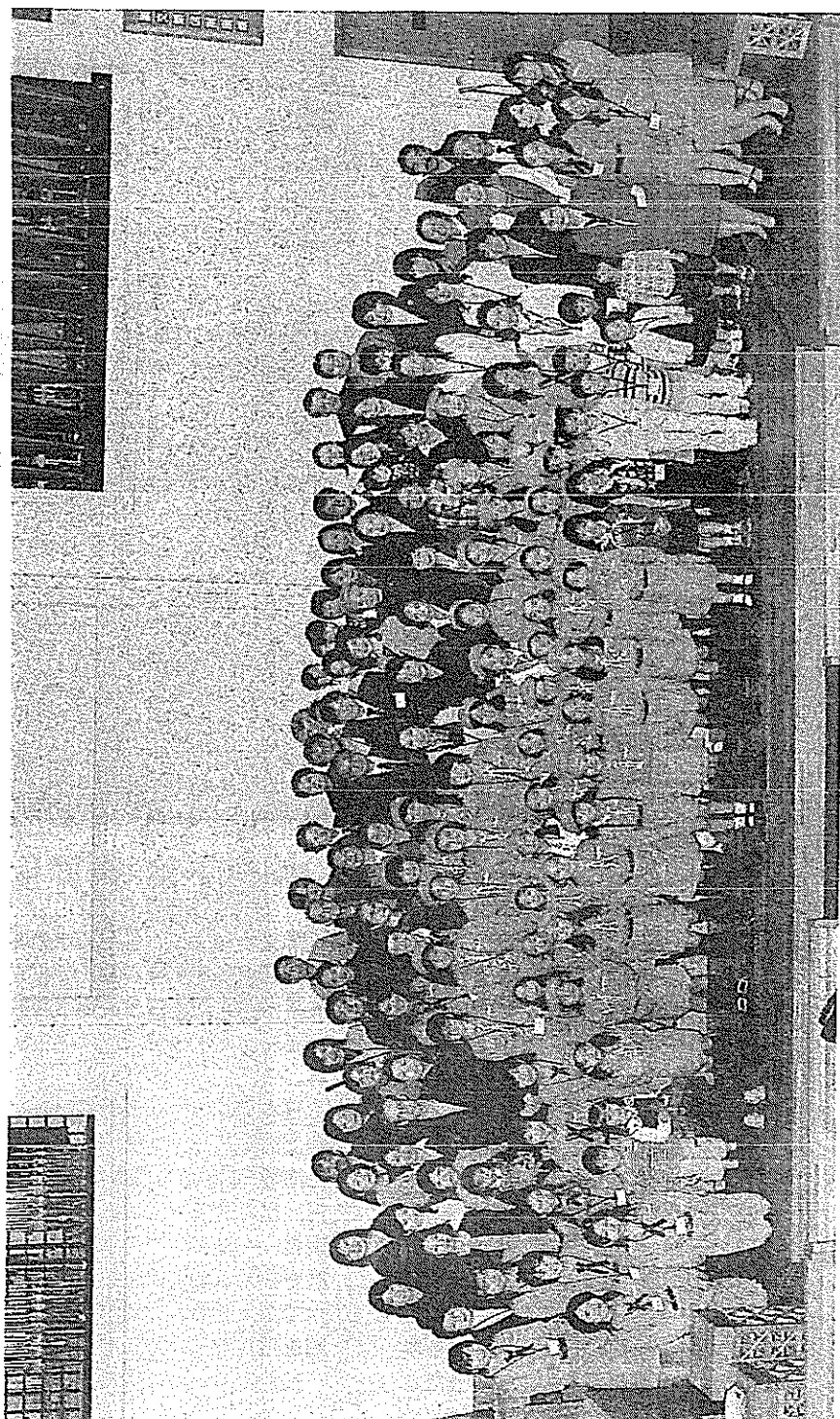
今回のテーマは“ブラウニー物語”でした。今のブラウニースカウトとはとにかく劇や歌が大好きです。あまり練習はできませんでしたが、皆立派にその役を演じる事ができたのではないかと思います。ブラウニースカウトと大先輩の方々が一緒の舞台に立っている姿を見て、その歴史の重みを感じ、感

慨深い思いがいたしました。また、行事が終わってから、ブラウニー部門としての周年行事は50年を区切り今回で最後になるということを知り、とても貴重な経験をさせていただいたのだなと思いました。

さて、その後の集會で、記念品の鏡は何を表しているかスカウトに尋ねてみると、「ブラウニー物語のお池!」という答えが返ってきました。さすがすばらしい!と思っています。他のスカウトが「♪私はブラウニーの歌詞に～身なりはきちんと、髪もかして～

て出てくるから、いつも身だしなみをきちんとしなさい、という意味だと思う。」と言いました。私はそのとき、スカウト達の発想は無限だなと感じ、またそのスカウト達のリーダーであることの責任の重さを改めて痛感いたしました。この一人ひとり違う芽をしっかりと育て、伸ばしてゆきたいと思いました。

どうかこれからも、ガールスカウト東京都第4団を温かく見守っていただければ幸いです。



カブ隊50周年

『リーダーの味わい』

カブ隊副長 林田 町子
泣き虫、おしゃべり、おこりんぼ
子供は十人十色です。家では大人しいけれど、外へ出れば活発なタイプ、又その反対もいるでしょう。家庭の中ではついつい親は、毎日の学校のテストの結果や、成績で自分の子供を他の子と比較しがちです。

かく云う私もそうでした。でも、デンリーダーに成って3年、団委員、カブの副長をやらせていただいて通算十年以上になりますが、『子供には色々なタイプ』があるのであって、決して『優劣』だけで判断してはいけないことを親としてではなくリーダーとして、子供達を見るうちに理解出来るようになりました。皆、どの子も『得意なこと』があり、努力して何かをやる事で得意な事が生かされます。

この子はこんな事をしたら大人に成ってもきっと楽しく仕事できて毎日を有意義に過ごせるだろうと勝手に想像するのも楽しみの一つです。

学校の先生しか味わえないそんな発見をリーダーに成って味わったのもカブスカウトの御陰です。そして、まだまだヤンチャで甘えん坊のスカウト達がボーイ・ベンチャーへと進級して行くにつれ、いつの間にか立派な青年に育って行くのを見届けられるのも醍醐味でしょう。

カブ・ボーイ・ベンチャーと進級する息子と一緒に数々の章を戴くために苦勞した事、キャンプから帰ってくると思い出話に花が咲く事。それらは今でも大切な我が家の宝物です。

五十年間、カブスカウト達に良い思い出を与え続けてくれた港一団カブスカウトに、弥栄！！

『カブスカウトで楽しかったこと』

くまスカウト

大木 陸

僕は、ビーバーからスカウトに入りました。初めは、たまにしか会わない友達と遊ぶよりも、保育園や学校の友達と遊ぶ方が楽しくて、あんまり行きたくない事も有りました。

でも、行くと楽しい事が沢山有って、「行ってよかった」と思いました。

カブスカウトに入るときは、小野隊長よりもちょっとこわそうな清水隊長だったので、少し心配でした。でも本当は面白い隊長だったので良かったと

思いました。スカウトでは、バーベキューやクリスマス会、バザーなどで美味しいものが沢山食べられるから楽しいです。

ボーイ隊のお兄さん達が一緒に遊んでくれる時も楽しいです。キャンプも楽しいけど、暗い所や汚い部屋で寝るのはあまり好きでは有りません。もっときれいな宿舎で泊まりたいな・・・と思います。



中国上海的見聞録

神無月中旬二泊三日訪上海主催加ト四旅行公司現地案内白井氏参加人加藤古矢戸田白井夫妻澤田夫妻倉持以上八名加藤白井両氏全日程計画多数驚業美味有。

日本ではなかなか口に出来ない超高級上海料理、小籠包、勿論10月が旬の上海蟹。1元から最高10元（1元は13円）迄の食堂で上海庶民に混じっての朝食、中国茶道での中国茶、格式高い歴史を感じる＜大使館＞での一服。すべてが大変おいしく中国の奥深さの一端を感じるものでした。

白井氏の手記によるマイクロバスに

でも、みんなで山登りをしたり野球をして遊ぶのがとても楽しいし、キャンプファイヤーも大好きです。今年のキャンプファイヤーでは、木の棒を自分で持って火をつけたので、とてもうれしかったです。

チャレンジ章をたくさん取り、制服がどんどんかっこよくなってきました。

カブスカウトも、もうすぐ終わりますが、もっとチャレンジ章をもらって、たすきを、いっぱいになりたいと思います。

乗っての市内観光、豫園の見学、露天の並ぶ淮海路での値切りを楽しみながらの買い物、ナイトツアー等々2泊3日の短い旅行でしたが、思い切り楽しみました。空港への帰路にも世界で唯一実用化されているリニア・モーターカーに乗車させていただけるなど加藤、白井両氏のきめ細かな配慮に参加者全員、謝謝・謝謝。

尚、白井氏は仕事の都合で月の内3週間は単身上海で過ごし、残りの1週間は日本で仕事という多忙な日々を送っている中にもかかわらず、快くツアーガイドを引き受けて頂きました。加藤氏は仕事で数度上海に行かれているそうです。（ポケモン）

〈弔辞〉

故今田富士雄盟兄に捧ぐ

ボーイスカウト日本連盟
国際担当コミッショナー
小町 國市

今田さん、遂に不帰の永遠のスカウトになられてしまったのですね。3年前の6月に昇天富江様の許に、そして信仰された主のみもとに旅立たされたのですねー。

井上陽水の“少年時代”の歌詩にあるような心模様がオーバーラップして、その中で今田さんは微笑んで居られます。

第二次大戦後の焼土の中で中学生の今田少年は靈南坂教会の東京第4隊に入隊され、日本のボーイスカウト活動再建の頃から今日に至る迄の57年余りに亘りスカウトの道をひたすら歩まれました。

日本のスカウト史に於ける初の上級班長に就任された、いわば歴史の生きた証人とも云える栄光のスカウトでありました。

指導者としては原隊の隊長はもとより、東京連盟の副コミッショナー、県コミッショナーとして通算16年、日本連盟の副総コミッショナーを12年、副国際コミッショナーを6年と指導者の鏡として34年もの永きに亘るコミッショナー職を歴任し、スカウティングの純正な活動と発展に寄与されました。

特に第1回の軽井沢のジャンボリーから第12回の秋田県森吉のジャンボリー迄は行事部の今田」と云われる程、ジャンボリーの華である全体行事の指揮を執り、アリーナ中を駆け回り、声を張り上げ全身全霊をスカウトへの感動の場面に草原に刻してきました。

昭和35年には第5回アメリカジャンボリーに参加し、滋来国際行事には100回を超

えた参加記録があり、スカウトの海外行事には20数回の渡航記録が残されています。アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、オランダ、タイ、インド、韓国、香港、台湾、ギリシャ等々を歴訪され国際関係の親善と相互理解に大きな役割を果たされました。オランダで開催された第18回世界ジャンボリーの派遣団長をはじめ世界会議に3回、アジア太平洋会議には4回それぞれ日本派遣団の首脳の一員として手腕を発揮されたのであります。

日米フレンドシップパトローリーでは日本側野営長を21回勤め日韓青少年交流のものを小淵総理に随行し、構築の糸口を拓いたことは記憶に新しいことの一つであります。

こうした功績に対し平成10年には日本政府から藍綬褒章が贈られ、平成13年には韓国連盟から世界友愛章が授与されたのでした。本年7月には世界スカウト機構が唯一定めているブロンズウルフ章が今田さんの今日迄の功績に対し授与されることが決定され、その通知が届いたことのお知らせをすと感涙にむせばれておられました。贈呈式は当初12月に開催のブルネイでのアジア太平洋会議の予定でしたが、病状を勘案して10月17日に東京代々木のオリンピック記念青少年センターで開かれるアジア太平洋地域主催のAPRワークショップでの席上でと計画していました。追贈することになりましたが、授与されることを病床の中でどんなにか喜ばれていたことはせめてもの救いでありました。

やがて、2007年にスカウト運動は創始100年を迎えます。この運動に参画した世界の兄弟姉妹は、230の国と地域で約3億人にもものぼると言われていますが、このブロンズウルフ章を受彰された成人指導者は

わずか250人にしか過ぎません。

スカウトに身を投じ、日本のスカウティングはもとより国際的にこの運動の推進に大いなる貢献を果たされた功績は世界的ステージでの評価を伴って、今田さんに送られたのであります。

靈南坂スカウトの誇りは東京連盟の誇りであり、日本連盟の誇りと申し上げても過言でないことを信じます。

私事になりますが、私は約40年近く今田さんには公私に亘りご指導を頂いて参りました。オーストラリアやタイ・インド・韓国での行事などにもご一緒にいたしました。人一倍泣き虫で、人一倍優しく思いやりのある人情家の今田さんでした。

最後の入院となった今回8月15日に最初に病室を尋ねると、今夏の台湾のムートの話や韓国雪岳山のアジア太平洋ジャンボリーの話をしると、そして一緒に行けなかった事を詫びてくれ、ねざらってくれるのでした。そして、君の帰って来るのを待っていたからここで逢えるのは予定の行動だよと申して下さっていました。筆舌に尽くすことのできない今田さんと私の友誼は神様のお与え下さった不思議な記載であります。藍綬褒章受彰のパーティーで今田さんの略歴をご紹介させていただいたあの日の喜びのお顔と感動の涙のお顔が交又します。

もう薬も注射も投与なさらなくてよい身体に戻られましたね。手術をされてからの1年と1ヶ月を本当によく耐えられました。日焼けされた笑顔の今田さんに逢えないのは淋しいですが、まぶたに焼きついていたものの破顔一笑は永遠に今田コミッショナーです。今田さんが願っていた少年たちの夢と希望に溢れるスカウティング継承を“志”として受け継いで参りたいと思います。残されたご遺族と靈南坂のスカウトと共に、そして多くの盟友と共に今田さんの“御霊”に心からの哀悼の誠を尽しお別れの言葉といたします。

●永遠の上級班長 ●永遠のコミッショナー
●永遠のスカウト

今田富士雄さんまたお逢いする日までさようなら／平成16年8月31日（告別式）

故今田氏 ブロンズウルフ章 受章

平成16年10月17日同章を長男の今田道雄さんと長女の西石垣文江さんとが代わりに受けた。（於：国立オリンピック青少年総合センター）

今田富士雄氏の略歴：1947年に加盟。富士スカウト章取得。1956年に人命救助章受章。リーダーとして8年間、地区（正・副）コミッショナーとして21年間、中央審議会議員として9年間、副総コミッショナーとして12年間、副国際コミッショナーとして

今田富士雄さん逝く



6年間奉仕。

最近までは、日本連盟評議員、国際協力資金運用委員会委員、世界スカウト財団B-P友情の会会員、APR財団会員として、特にアジア太平洋地域内での国際交流に貢献していた。

同章は、世界スカウト委員会によって授与される唯一の章がブロンズウルフ章です。世界スカウティングに対して顕著な功績のあった個人に授与されます。ブロンズウルフ章の設立は、193年8月2日にストックホルムで開催された国際委員会承認されました。委員会は満場一致で、最初のブロンズウルフ章を世界のチーフスカウト、バーデン・パウエル卿に贈呈しました。故今田氏は30番目（日本では1番目）の受章です。

皆様へ

今田道雄 西石垣文江

日が経つのは本当に早いもので、本年も3月足らずを残すばかりとなってしまいました。ついこの間まで、猛暑を感じておりましたのに、コートを着ているこの頃です。

さて、8月28日に永眠いたしました父、今田富士雄の葬儀の折には、ご丁重にもご厚志をご配慮賜り誠に有り難うございました。

お陰様で、霊南坂教会におきまして8月30日に前夜式、31日に告別式を滞りなく相済ませることが出来ました。お心遣いに心より深謝申し上げます。

故人は50数年の永きにわたってボーイスカウト活動を通じて青少年育成を追及し、「生涯現役」を貫き通し、遠い旅立ちの直前まで半ズボンをはいて若いスカウトの皆さんの指導をしておりました。本日、日本で行われたボーイスカウトアジア太平洋地区の会合の中で世界スカウト機構よりブロンズウルフ章を正式に授与されましたことをご報告いたします。

1年前に癌が発見されましたが、治療の甲斐あって元気を取り戻しておりました。しかし、今年の猛暑に堪えることができず終戦記念日に、通院先に来ないと石垣島出張中の私（長女）に連絡があり、救急車で緊急入院。一時はもちなおしましたが、旅立つ当日に「末期がん」と宣告されました。その日にボーイスカウト世界機構より「ブロンズウルフ受章正式決定」の方を受け、病院に大勢の仲間が集まりました。皆さんから「お祝い会の打ち合わせをしようね」と励まされ、本人も大変喜んでいました。その晩、眠るように天に

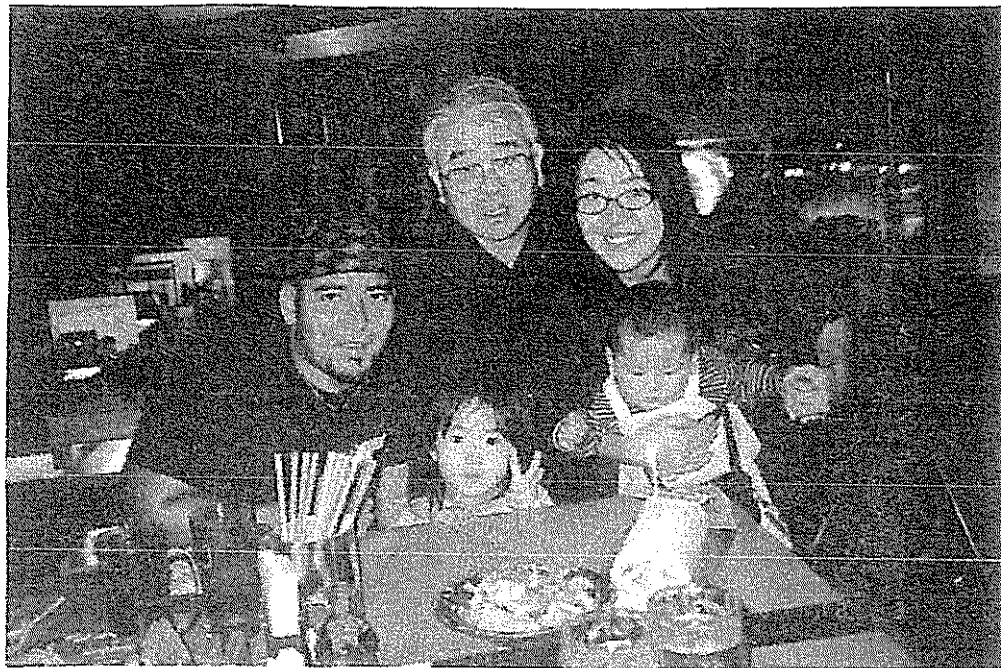
旅立ちました。71歳でした。それは、道雄（長男）が30年ぶりに一緒に枕を並べた日でした。

父も私達と過した年月よりもスカウト活動の方が永くなりましたが、「自分の背中を見て道を進め」とよく説いていたことをこれからも忘れる事は出来ません。孫の美海（みなみ）は9月にガールスカウトに入団し、輝琉（ひかる）は2007年に活動100年目のボーイ

スカウトになります。3世代で父母の愛したスカウト活動にたずさわる事が何よりと思っています。お気持ちの一部は連盟にも寄付させていただきました。

略儀ではございますがご報告させて頂きますとともに、故人の葬儀へのお心遣いに重ねてお礼を申し上げます。

（挨拶文より一部割愛して掲載）



霊南坂バザー

●10月23日、霊南坂教会バザーへのご協力に感謝。特に男性の協力に婦人会の方から感謝されました。（男性数名、女性数名）

●教会バザーでは、アフガンプロジェクトのチームも出店されていました。

天候の心配をしながら迎えたバザーでしたが運良く「晴れ」。約1100人の入場者をお客様に教会の建物全体を使っている行事でした。

- ・愛の業への協力
- ・働きを通しての交わり深化
- ・各団体の活性化

を目的として、教会、幼稚園、スカウト共々心をつなげて、一日を楽しく過ごしました。

スカウト関係では、保護者の献品、製作品、食堂関係（テーブル、洗い方、カレーライス、五目寿司、フランクフルト、アイスクリーム、ジュース、ケーキ）

園庭では、スカウト達のお店（ポップコーン、綿アメ、キャンディレイ、チョコバナナ、焼き鳥、焼そば、シュー

マイ、ちまき、杏仁豆腐。

そして、ゲームコーナー、ヨーヨーつりなど、沢山食べて遊んで、店員さんになって、お金を扱うこと、お客様と接することなどを体験しました。

ブラウニーは礼拝堂でチャペルコンサート。30分程ですが集会時間を使ってれんしゅう。今年は“ブラウニー物語”を中心に行いました。お客様も解っていただけた様です。

スカウトクラブの方々もご奉仕いただきました。教会婦人会の中古品売場の品物の販売と荷物運び。スカウト達のために杏仁豆腐の製作をOBの朱さん。焼き鳥の手配をOGの矢島（鈴木尊子）さんに毎年お世話いただいております。

その昔、父兄であられた方のお手伝いもありました。皆様のご協力を心から感謝申し上げます。

★お宅にあります不用品（新品のみ）がありましたら、一年中下記で受け付けていますので、お送りください。

104-0032

中央区八丁堀3-4-7

Tel:03-3555-6375

矢澤宏子（内山）

少年少女を取り巻く教育現状

杉原 正

『確かな学力の定着、豊かな心、体力の向上と心身の健康の3つ、いわゆる「知・徳・体」のバランスのとれた発達、学校教育の中での現行の学習指導要領でも明確に教育過程の編成の基本方針となっており、教育の不易の基本事項として謳われている。

一方で、子どもを取り巻く状況は、様々な社会的要因によって大きく変化し、「知・徳・体」のバランス（昨今では食育が提起されている）の取れた発達が十分にはかれない状況が生起している。

近年、学校だけで子どもの育みの全てを担うことは限界があるとの認識から、家庭・地域・学校が連携あるいは協働して、子どもの育成を図ろうとする機運が高まりつつあり、また学校教育活動に対して第三者評価を導入し、学校経営協議会を設置するなどの動きもある。

完全学校週5日制が実施されて3年目に入り、子どもたちに「時間的なゆとり」が生まれているはずであるが、現段階では、それが形式的なものに終わっており、ゆとりを活用した体験活動等の充実が結びついていない。特に中学校では、学校5日制により週日の授業時間数が増え、放課後に時間的余裕がないため、かえって土曜日や日曜日に部活動を実施するなどの状況が散見される。

また、完全学校週5日制に伴い、小・中学校において教科の学習内容が精選・縮減され、授業時間数が削減されたことから、社会的現象として学力低

下論争が巻き起こり、土曜日の授業実施や、学校2学期制の実施による夏休みの日数削減などにより授業時数を確保あるいは増加させようとする動きが急激に広まっている。

更に、東京都の品川区などを皮切りに学校選択の自由化や高等学校の学区廃止、生徒数減少に伴う学校再編や特色づくりなどの流れの中で、いわゆる「公立進学校」が復権しつつあり、徐々に進学競争が再燃しつつある。

こういった状況にあつて、子どもたちは、かえって時間的・精神的なゆとりを失い、学校という閉鎖的な空間の中で、限られた人間関係の調整に苦しみ、様々な様態で問題行動を起こしているのが現状である。

教育の世界でも、2極分化、つまり「勝ち組」と「負け組」が発生しつつあり、多くの子どもたちが目標を消失し、達成感を全く持てない状況に追い込まれている。

頻発した青少年の凶悪犯罪や長崎で発生した児童殺傷事件などを踏まえ、文部科学省は、種々の答申・提言等を得て「青少年の豊かな心と社会性を育成するためには、自然体験活動等の多様な体験活動の機会を提供することが重要である」との立場を表明しているが、施策の効果は一部にとどまっております。多くの子どもたちは「自然体験活動などの多様な体験の機会」が十分に与えられていないのが現状である。』

以上について去る9月7日（火）開催された文部科学大臣の設問機関であ

る中央教育審議会分科会においてのヒアリングの際に「青少年団体及び青少年教育の課題」として青少年団体からの意見として小職が導入部分として、現状認識を開陳したものであります。

このような現状にあつて、学校外教育を担う青少年団体、特にボーイスカウト教育の果たすべき役割や使命の大きさを改めて実感しています。特に青少年の豊かな心と社会性を育むためにどのように取り組んでいくのか。このことは決してリーダーとスカウトの関係のみで結実するものではなく、その環境づくりのために多くの大人たちの協力が必要であり、スカウト教育が、その役割を十分果たし得る活動として必要であることを経験されている霊南坂スカウトクラブの一人ひとりのお支えとご理解、そして何よりも協力が必要であると考えています。

8月末に召天された今田富士雄さんが務められていた団委員長に9月開催された団委員会でご推薦を受けましたが、草創期に携わった者がいつまでも直接に団にとどまること等の諸般の状況に鑑みて保留させていただきましたが、いま団を取り巻く状況を踏まえ、熟慮いたした結論として、10月の団委員会で引き受けすることにいたしました。

港第1団を取り巻く青少年の現状も一段と厳しいときですが、改めて「教会スカウト」を根付かせることに少しでもお役に立てることがあればと微力ですが取り組みたいと考えておりますのでお力をお貸し下さることをお願いいたします。

取扱商品一例

諸古美術品一般・屏風・工芸作家品・日本刀・蒔絵物・茶道具・洋画・日本画・掛軸・進物等

蔵・物置・押入れ・トランクルームの整理品、引越し・新築時のご不用品、相続評価等、都内・地方を問わず、全国どちらでもお電話・インターネット等でご相談の上、出張鑑定（無料）致します。お知り合いの方もご紹介下さい。

新・古美術品、諸道具のご売却をお考えの方は是非ご一報下さい。お客様とご相談の上、納得のいく価格にて買い入れいたします。まずは、お気軽にお問い合わせ下さい。（秘密厳守）

<http://homepage2.nifty.com/onkodou/>

東京都公安委員会
許可番号第886号

新・古美術

永山温故堂

TEL 03-3431-0011
FAX 03-3431-0192

営業時間 午前10時～午後6時
定休日 日曜日・祝祭日

ブラウニー 50周年

霊南坂にボーイスカウト、ガールスカウトが誕生してから7年後の1954年に妹分なるブラウニーが生まれて、50周年記念のお祝いの会が11月20日秋晴れの美しい日に恵まれ開かれました。

会は礼拝堂でのブラウニー物語にそっての演出の中で、記念式典と礼拝、そして3階ホールでのお祝い会がもたれました。

初代リーダーの根本喜久子さんのご出席は叶いませんでしたが、沢山の歴代リーダーや団委委員さんたち、最初に集まった4人のブラウニーの木村恵子さん、西川安子さん、そして教会の小橋主任牧師、佐原伝道師、スカウト担当役員の仲館さん等々、大勢の方々が集まり和やかに楽しく素晴らしい会でした。

1954年4月初めての集会上に4人の少女が集まり、週ごとに増えてその年のクリスマスに11人の少女たちでブラウニー東京第4団の初団式を迎えました。

当時のユニフォームは白いブラウスにエンジ色の吊りスカートで全て手作り、エンジのとんがり帽子はガールスカウトのお姉さんやリーダーたちで作ったプレゼントでした。

50周年記念のこの日にも新たに幸運な6人の少女たちが、霊南坂の森のお池の中にブラウニーの「自分」を見つけて入団しました。

みんなで今日まで恵まれ守られ歩み続けて来られたことを、改めて心から感謝した一日でした。

昔のリーダー 西郷崇子

ブラウニー 50周年行事を終えて ブラウニー 正リーダー 本多千春

11月20日(土)お蔭様で無事行事を終る事ができ、牧師先生をはじめ教会の関係者の皆様、OGの方々や団委員の方々に深く感謝しております。

今回のテーマは“ブラウニー物語”でした。今のブラウニスカウトはとにかく劇や歌が大好きです。あまり練習はできませんでしたが、皆立派にその役を演じる事ができたのではないかと思います。ブラウニスカウトと大先輩の方々が一緒の舞台に立っている姿を見て、その歴史の重みを感じ、感慨深い思いがいたしました。また、行事が終わってから、ブラウニー部門としての周年行事は50年を区切りに今回で最後になるということを知り、とて

も貴重な経験をさせていただいたのだなと思いました。

さて、その後の集会で、記念品の鏡は何を表しているかスカウトに尋ねてみると、「ブラウニー物語のお池!」という答えが返ってきました。さすが素晴らしい!と思っていると、他のスカウトが「♪私はブラウニーの歌詞に～身なりはきちんと、髪もかして～って出てくるから、いつも身だしなみをきちんとしなさい、という意味だと思う。」と言いました。私はそのとき、スカウト達の発想は無限だなと感じ、またそのスカウト達のリーダーであることの責任の重さを改めて痛感いたしました。この一人ひとり違う芽をしっかりと育て、伸ばしてゆきたいと思いました。

どうかこれからも、ガールスカウト東京都第4団を温かく見守っていただければ幸いです。



←
特別なケーキをプレゼントされて
およろこびのブラウニー

カブ隊 50 周年記念式典の開催

『リーダーの味わい』

カブ隊副長 林田 町子

泣き虫、おしゃべり、おこりんぼ、子供は十人十色です。家では大人しいけれど、外へ出れば活発なタイプ、又その反対もいるでしょう。家庭の中ではつつい親は、毎日の学校のテストの結果や、成績で自分の子供を他の子と比較しがちです。かく云う私もそうでした。

でも、デンリーダーになって3年、団委員、カブの副長をやらせていただいて通算十年以上になりますが、『子供に

は色々なタイプ』があるのであって、決して『優劣』だけで判断してはいけないことを親としてではなくリーダーとして、子供達を見るうちに理解出来るようになりました。皆、どの子も『得意なこと』があり、努力して何かをやる事で得意な事が生かされます。

この子はこんな事をしたら大人に成ってもきっと楽しく仕事が出来て毎日有意義に過ごせるだろうと勝手に想像するのも楽しみの一つです。学校の先生しか味わえないそんな発見をリーダーに成って味わったのもカブスカウ

トの御陰です。そして、まだまだヤンチャで甘えん坊のスカウト達がボーイ・ベンチャーへと進級して行くにつれ、いつの間にか立派な青年に育って行くのを見届けられるのも醍醐味でしょう。

カブ・ボーイ・ベンチャーと進級する息子と一緒に数々の章を戴くために苦労した事、キャンプから帰ってくると思い出話に花が咲く事。それらは今でも大切な我が家の宝物です。

五十年間、カブスカウト達に良い思い出を与え続けてくれた港一団カブスカウトに、弥栄！！

『カブスカウトで楽しかったこと』

くまスカウト 大木 陸

僕は、ビーバーからスカウトに入りました。初めは、たまにしか会わない友達と遊ぶよりも、保育園や学校の友達と遊ぶ方が楽しくて、あんまり行きたくない事も有りました。でも、行くとなんか楽しい事が沢山有って、「行ってよかった」と思いました。

カブスカウトに入るときは、小野隊長よりもちょっとこわそうな清水隊長

だったので、少し心配でした。でも本当は面白い隊長だったので良かったと思えました。スカウトでは、バーベキューやクリスマス会、バザーなどで美味しいものが沢山食べられるから楽しいです。

ボーイ隊のお兄さん達が一緒に遊んでくれる時も楽しいです。キャンプも楽しいけど、暗い所や汚い部屋で寝るのはあまり好きでは有りません。もっときれいな宿舎で泊まりたいな・・・と

思います。でも、みんなで山登りをしたり野球をして遊ぶのがとても楽しいし、キャンプファイヤーも大好きです。今年のキャンプファイヤーでは、木の棒を自分で持って火をつけたので、とてもうれしかったです。

チャレンジ章をたくさん取り、制服がどんどんかっこよくなってきました。

カブスカウトも、もうすぐ終わりですが、もっとチャレンジ章をもらって、たすきを、いっぱいになりたいと思います。



計報

■遠藤 斗紀雄、正紀、木田万里子ごきょうだいの母君、宇田川 淑明、和子ごきょうだいの父君が召天されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■小林隆 7月17日心不全により、他界。腎臓ガンを克服され、東横線学芸大学駅の商店街で讃岐うどん店を経営なされておられましたが、今年に入って持病の糖尿病による合併症と闘いながら入退院を繰り返しておられたそうです。

お見舞い

■会員の中に新潟中越地震の災害にあわれた方がおられます、心からお見舞い申し上げます。小松正太郎様です。詳しいことは高玉大氏にお尋ね下さい(03-3497-9254)

お知らせ

★ 霊南坂スカウトクラブのホームページができました。作成は関口敦夫さんのお嬢さんが協力してくださいました。

報告

● 台風の中、10月10日、港区民まつりでのバザーに参加。ご協力に感謝。

● 4代目GSリーダー、根本喜久子さんが入院され、大岩久、西郷崇子、長橋牧子の3氏が早速お見舞いに行かれました。

お願い

ホームページを開設しましたので、

懐かしい写真、エピソード等をお寄せ下さい。ご提供の際は、キャプションをそえ、返却を間違えないためにも必ずお名前を書いてください。

トピックス

マイク真木のこと！

近頃またライブをやっていますが、本も書いてました。「いつもそこには空がある」オートブックハンドブック・・・日本オートキャンプ協会発行。「キャンプ・ダ・ホイマイク流たのしいキャンプガイド・・・センチユリー発行。「粹な不良になれ！」いつも心に楊枝をくわえて・・・ ルーツ出版発行

田中 槇子さん

ホテルオークラで絵本の原画展を開催！いつもカットを提供して下さる田中さん、(父君はキリスト教の絵画の第一人者、教会のステンドグラスの作者) 何ともファンタジックな絵がいっぱい！大勢の方がおとずれ、子供がいなくても手元に置きたくなる絵本、思わず笑顔がこぼれる絵のなかの動物たちの動き、もちろん絵を求めてしまいました。ちっさく手かわいのを！旧ブラウニーのハンドブック(ガールスカウト日本連盟発行)の挿絵も描いていただきました。(塚田)

E-mail / 電子メール

スカウトクラブの会報は年に3回、あるいは多くて4回となっています。

3~4ヶ月の間に事柄によってですが、できるだけいろいろなことを皆さんに早くお知らせしたいと幹事会では希望しております。

そこで、現在E-mail Addressをお持ちの方は下記まで電子メールでアドレスをお知らせください。会員・未加入会員を問いませんのでお気軽にご連絡ください。(河内宛)

連絡先: E-mail Address
riverys@fancy.ocn.ne.jp

お願い

住所変更等の連絡

● 会員OB、OGなどの方で転居をされた方、また名簿に記載されていないOB、OGの住所などをご存知の場合は幹事までご連絡ください。

● 会員登録されている、いないに関わらず霊南坂スカウトとして一度は登録されたことのある人が学校などの同窓会名簿などで判る場合は幹事に連絡をお願いします。できるだけ会報を多くの方々に送付するためです。会員登録されていない場合は会報を毎回送付しないこともありますが、年1~2度は、非会員の方々へも送付していますので、霊南坂スカウトとして在籍していた方々についてご存知の場合は、是非ご連絡ください。

意見・寄稿を募集中

広く皆さんのご意見や寄稿を募集しています。ビジネスに役立つ情報交換を希望される方からのものも掲載していきますので共有できる情報を左記の幹事宛に送付ください。

編集後記

今回の会報は昨年11月に出すはずのものが、いろいろとあって(通信係河内の怠慢も含め)遅れてしまいました。この号以後は、係りが順番に引き受けて会報を作ります。会報も新鮮な雰囲気を持ったものが送付できると思われれます。是非皆様も今後ともご協力をお願いします。好評だったバスピクの申込書を送っています。是非、ご参加を！

霊南坂スカウトクラブ連絡先

入会申込・移転連絡等:

(郵便) 107-0062 東京都港区南青山7-11-5 日下部 宛

(ファクス) 03-3400-0399 (電話) 03-3400-0331

イベント・各種問合せ:

(郵便) 105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-4 永山 宛

(ファクス) 03-3431-0192 (電話) 03-3431-0011

(E-mail) shige827@sf6.so-net.ne.jp

会費・ご寄付等:

(郵便) 105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 杉原 宛

(電話/ファクス) 03-3501-3998

郵便局振込口座番号: 霊南坂スカウトクラブ

00160-1-615237

通信・ご意見等:

(郵便) 150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-3-303 河内 宛

(ファクス) 03-3464-8276 (電話) 090-4919-2941

(E-mail) riverys@fancy.ocn.ne.jp